

同じ念仏に生かされる喜び

平成天皇の退位、浩宮さまの天皇即位のため十連休になった今年のゴールデンウィーク、休みの期間が長かったですね。リハビリに通う病院、先月三十日と今月二日は営業していたのですが、私はリハビリに行くことができなかったの左腕部の痛みに悩まされました。

テレビを見てみると多くの方々の連休を満喫された様子が報道されていました。うらやましい限り。私は一日も休みがなく、法衣を十日連続着て仏事のご縁をつとめました。法事の席でのある方の発言。

「百姓は休みは無いけ、十連休やら関係ないばい」私も関係ないですよと思っただことでした。

連休中の法事のご縁の中の一つに同級生の一周忌法要がありました。仏壇の前に置いてある写真を見ると生前の優

しい顔があります。思わず「逝くのが早すぎたな」と心の中で言葉を発していました。また、四月には宮崎市に住んでいた同級生も一周忌を迎えました。鞍岡を離れた彼でしたが、鞍岡の地を愛し続けた彼の顔がまぶたに浮かんだことでした。お釈迦さまのお示し「愛別離苦」の真理の現実



に思いをいたしたことです。私たちは「生まれた者は必ず死ぬ」ことを知っています。だれもが認めなくてはならない真理です。と同時に、「愛する者と別れたくない」とい

う願いも強烈です。素直な感情でしょう。

法然聖人は

生々世々の父母、師長（先
生や先輩）、妻子、眷属（親
族）、朋友（友人）、知識
（善知識、よき友や指導者）
に相見えんと欲せば、極樂に
往生すべきなり。

（伊藤慧明著
『阿弥陀経に聞く』
一七四頁 参照）

とお示しくださいます。また会える世界があるといわれるのです。故人は阿弥陀さまのおはたらきによって、お浄土へ往生しておられます。同じ信心に生きた人びとは、みんな安樂・極樂浄土で会うことができるのです。

お念仏の世界では、愛別離苦の悲しみを超えて、俱に会えるという、阿弥陀経お示しの「俱会一処」の温かく安らかな世界が開けてくるのです。

親鸞聖人は
安樂浄土にいたるひと

五濁悪世にかへりては
釈迦牟尼仏のごとくして
利益衆生はきはもなし

と『浄土和讃』に詠われておられます。故人は仏さまとなつてこの世にかえってこられるのです。迷ってかえられるのではない、仏となって私たちを利益（悟りの岸に導く）するためにかえってこられるのです。亡き人を偲び、亡き人を縁として同じ念仏一行の道を歩みたいものです。

この縁を同行は
人は去りても優しさは残る
人は去りても温もりは残る
人は去りても言葉は残る
その人は合わす手に
還りくる
同じ念仏に生かされる喜び

と詩っておられます。
恋しくばなむあみだ仏を
唱ふべし
われも六字の中に
こそあれ
合掌

法語の世界

《原文》

信決定の人は、仏法の方へ身ををかくもつべし。仏法の御恩をばおもくうやまふべしと云々。

『蓮如上人御一代記聞書』二百三十二

《現代語訳》

「たしかに信心が定まった人は、仏法のことについては、わが身を軽くして報謝につとめなければならぬ。そして、仏法のご恩を、重く大切に敬わなければならないのである」と仰せになりました。

《原文》

蓮如上人仰せられ候ふ。宿善めでたしといふはわろし。御一流には宿善ありがたしと申すがよく候ふよし仰せられ候ふ。

『蓮如上人御一代記聞書』二百三十三

《現代語訳》

蓮如上人は、「宿善がすばらしいというのはよくない。宿善とは阿弥陀仏のお育てのことであるから、浄土真宗では宿善がありがたいというのがよいのである」と仰せになりました。

金光寺からの連絡

初盆会について

初盆会について、日時を決め、お斎の予定をお立ての際は早目にご連絡ください。受付順に日時を決めます。

本年5月8日現在、23軒が初盆会をお迎えになりそうです。

お斎の予定がない場合も連絡ください。当山の空いている時間にお参りをいたします。



年回忌について

◎ お忘れではないですか

昨年中に本年、年回忌をお迎えになるお宅にはご案内をお届けしています。

まだ、おつとめになっていないお宅があります。お忘れではありませんか。おつとめにならない場合も連絡ください。

◎ 年回忌日程について

年回忌の日時を決められる際は早目に相談してください。相談順の日時を決めています。希望日前日に相談を受けることがありますが、ご要望に応じられないこともあります。

また、年回忌は祥月命日を過ぎてもかまいません。